

第29回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（高学年の部）

タイトル：「カギを拾ったよ」

氏名： 齋藤 世奈（サイトウ セナ）

小学校名：鹿児島県 鹿児島市立星峯西小学校 四年

おばあちゃんの家の近くの公園でカギを見つけました。私は最初、ひろった方がいいのかどうかまよいました。理ゆうは、「もしかしたらその人がいなくてすてていったのかも。」と思ったからです。なので、その時はカギは拾わずにそのままにしておきました。でも心の中で「カギを落とした人はきっとこまっているかも。」という気持ちもあったので、夕方仕事から帰ってきたお母さんにカギがおちていた事を伝えました。お母さんはすぐに「カギは交番にとどけたの。」と聞いてきました。「そのまま公園にあるよ。」と伝えると、「もしかしたらカギをなくしてこまっているかもしれないから一しよに交番にもっていこう。」と言われました。私もかぎの事が気になっていたので安心しました。

カギをもって近くの交番に行きました。初めて入る交番は少しうす暗くてこわいなと思いました。でも、交番にいたおまわりさんがすぐに「どうしましたか。」と聞いてきてくれたのでほっとして私も笑顔が出ました。カギを拾ったことを伝えるとおまわりさんが「とどけてくれてありがとう。今から色いろとしつ問するから答えてね。」と言って「落ちていた物」「場所」「時間」などを聞かれました。おまわりさんから「カギをなくした人が交番にたずねてくれればすぐに見つかるよ。」と教えてくれました。

それから2日後の夕方、家のチャイムがなりました。お母さんがカギの持ち主さんが来ているよ、と教えてくれました。私はうれしくてあわててげん関に向かいました。カギの持ち主さんは、カギを拾った公園の近くに住んでいることを知りました。カギをなくしたことに昨日気が付いて交番にとどいていないか聞きにいったと言っていました。「カギを拾ってくれてありがとう。」と言われるとちょっぴりはずかしかったけど、とてもうれしかったです。

その日の夜、お父さんから「人に親切にすることは、とてもいいことだよ。落とし物を見つけてもとどけるのがめんどくさくて、見て見ぬふりをする人も多い中でえらかったね。」と言われました。

初めておまわりさんの仕事を近くで見ることができました。交番の仕事は、大変だと思うけど、おまわりさんがいる事で安心して住めるので、これからもがんばってほしいと思いました。